

かうち・たかひろ／1961年生まれ。秋大附中、秋田高校、法政大学、山形放送を経て1987年秋田放送入社。「土曜はキャベツクラブ」「あさ探りワイド秋田便」など、主にラジオ番組を担当。2009～22年アナウンサーを続け、昭和歌謡など幅広いジャンルをカバーする音楽番組「賀内隆弘の名曲がいっぱい」「日曜も名曲」を手がける。音楽の知識を生かし、吹奏楽をはじめとした演奏会の司会も長年担当している。



Essay エッセイ

演奏会の司会、わがライフワーク

ABS秋田放送アナウンサー 賀内 隆弘（昭和55年卒）

振り返れば音楽とアナウンス、この二つが人生の両輪でした。

1977年、秋高に入学した私がまず突撃したのは、小体育館入って右側、音楽室の脇、今は亡き音楽の伊藤吉雄先生の部屋でした。むせるような煙草の匂いの中、「あ、う、僕、吹奏楽のアレンジできるので、使ってくださいませんか」と、恥ずかしげもなく売り込んだんです。アピールが実つて、吹奏楽部のために作曲や編曲をし、楽器は吹かなくても楽譜ばかり書いていた3年間でした。

大学卒業後、山形の放送局で3年、その後縁あってUターンし、秋田放送で働き始めたある日、中学校時代に吹奏楽部でお世話になった恩師に再会する機会がありました。「アナウンサーやってるんだって？じゃ司会で

きるだろう」

その一言で、道が開けました。1988年、秋田県民会館で「吹奏楽トップコンサート」を司会して以来37年、県民会館や秋田市文化会館、ミルハスなどで演奏会の司会をしたほか、「影アナ」と呼ばれる場内放送も担当してきました。吹奏楽にかかわる教員には、附中、秋高の先輩や同期、後輩も多く、演奏前の舞台袖で音楽話や昔話に花が咲くこともしょっちゅうで、ふるさと秋田で仕事できる幸福を感じながら、ステージに立つことができました。スタジオでの仕事と違って舞台の司会は、お客様が目の前にいる「ライブ」ですから、反応を直に感じながらの進行です。同時に感じたのは、司会のアナウンスと演奏（特に管楽器の）には、共通点が多い、ということでした。



演奏会の司会をするなら読むべき一冊

- 目の前の原稿に視線を落として読んでも声が遠くに届かない。客席の壁に声を当てるくらいの気持ちで発声する。
 - 1カ所2カ所、間違ったり囁んだりしても気にしない。大事なことは全体を通して「この人の言うことは信用できるか」と感じてもらうこと。そのためには原稿の内容をよく把握しておく。
 - 読みづらい言葉は「どこで切るか」を考える。「逃れられない」を息で読もうとせず「逃れ／られない」と、二分割する意識で臨めば読みやすくなる。
- まだまだあるのですが、そうした注意点を自分なりにまとめて「司会マニアル」を作ったところ、ひょんなことから東京の音楽出版社・音楽之友社の目にとまり、「演奏会を成功させる 舞台の作法」を出版することになりました。
- 64歳にして初の体験でしたが、加賀谷書店では週間1位の売り上げを記録したこともあったそうで、感謝するばかりです。
- 音楽とアナウンス、その両輪が重なるところに司会あり、と感じています。

米山消化器内科クリニック
TONEYAMA CLINIC

院長
米山 和夫
(昭和60年卒)

〒010-1414 秋田市御所野元町1-1-1
フレسوب御所野B棟2F
TEL: 018-853-1531
FAX: 018-853-1521

山内 歯科
YAMANOUCHI DENTAL AND ORTHODONTIC OFFICE

矯正 歯科

秋田市更正・育成医療病院
秋田県顎口腔機能診断施設
日本矯正歯科学会 臨床研修機関

日本矯正歯科学会
認定医・臨床指導医

山内 積
(昭和60年卒)

018-832-5252
www.yama-ortho.info

いつでも、大切な日のために

Matsuyo
松与会館

代表取締役
湊 学 (昭和60年卒)

〒013-0035 秋田県横手市平和町4-2
http://www.matsuyo.jp
E-Mail: staff@matsuyo.jp
TEL.0182-32-2101

社会保険労務士
館岡英樹事務所

社会保険労務士
館岡 英樹 (昭和60年卒)

秋田市川尻みよし町7-6 〒010-0945
TEL 018-883-0427 FAX 018-883-0428
E-mail:tateoka@sret.biz